

BUSINESS REPORT

25th



Mac-House

Mens, Womens, Kids Clothing & Lifestyle Goods

第25期
報告書

平成26年3月1日～
平成27年2月28日

株式会社
マックハウス

JASDAQ

証券コード: 7603

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第25期（平成26年3月から平成27年2月まで）における事業の
ご報告をするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

弊社マックハウスは、90年代にナショナルブランドジーンズを大量陳列販売する郊外フリースタンド業態として全国に多店舗展開し急成長した専門店チェーンであります。当時は若者のジーンズ・ブームに乗って一世を風靡したものの、2000年代に入るとカジュアルファストファッション企業が急速に台頭。低価格ジーンズを仕掛けられることで、年々主力商品となるジーンズのシェアが奪われジリ貧を余儀なくされてまいりました。また低価格ジーンズの波は婦人服専門店チェーンをはじめGMS等にも波及し、今日ではジーンズ専門店の看板だけではビジネスが成立し得ない状況に立ち至っております。

さらに今後のカジュアル衣料品業界全体を展望いたしますと、大手国内ファストファッション企業の店舗拡大、相次ぐ外資系ファストファッションの参入、少子高齢化による衣料品消費支出減、消費増税による消費頻度の減少など、弊社にとって非常に難しい未来が待ち受けていると考えざるを得ません。

かくのごとき歴史的経緯や現下の状況を考えてみますと、もはや弊社におきましては従来型のMD改良、経費削減等による企業延命策では、停滞と衰退の運命のみが待ち受けていると認識せざるを得ません。

一方で株主・社員・取引先ほか全てのステークホルダー様が企業に求めるものが成長であって停滞でないことは言うまでもありません。企業は成長するために存在し、成長がなければ誰も利益を享受できないばかりか、企業そのものの輝きも消え失せてしまいます。

弊社としましては、この企業にとって最も重要なミッションである「成長」を勝ち取るために必要なことは、「旧来のビジネスモデルを抜本的に変革すること」であると考えております。

しかしながら大成するビジネスモデルが思いつきや机上の理論だけで生まれるべくもないことは、様々な企業の成功事例・失敗事例を見れば明らかであります。

成功に必要なのは、「やってみよう精神」であると私は愚考いたします。

成功するかもしれないと思えばまず「やってみる」。うまく行かなければ「速やかに方向転換する」。すなわち「トライアル・アンド・エラー」を絶え間なく繰り返すことで、成功するビジネスモデルを手に入れることが可能となります。企業にとっての革新性とはこの「トライアル・アンド・エラー」の言い換えでもあるかもしれません。



平成27年5月
代表取締役社長
白土 孝

私は社長就任以来、一貫して「成長するためのビジネスモデル」を追い求めてまいりました。

社長就任10ヶ月後には、女性客の滞留時間を増加させ、買い上げ点数を増加させる目的で生活雑貨「ネイビースタア」の導入を実施いたしました。生活雑貨の取り扱いには、弊社の女性顧客の興味を惹いただけでなく社内的にもMDの視野を大幅に広げる触媒となり、シーニングやアメリカジー辺倒からの脱却の基礎ができました。

また社長就任二年目になる今年は、「マックハウスのビジカジスタイル」という大きなテーマを掲げ、全店でテラードジャケットの取り扱いを始めました。また実験的に約50店舗ほどでスーツの販売にもチャレンジしております。

さらに新業態実験といたしまして、埼玉県既存店「アウトレットJ・ピバモール大井店」を全面改装し、2015年3月28日に「マックハウス スーパースタア」1号店をオープンいたしました。「マックハウス スーパースタア」は、これまでとは全く異なる店舗イメージ、MD、販促により従来の売上を倍増させようとする試みであります。おかげさまで同店は、改装店としてはマックハウス史上最高のオープン売上を記録しました。

雑貨、テラードジャケット、スーパースタアと、いずれもこれまでの弊社の常識では考えられなかった大胆なチャレンジではありますが、市場競争の激しいカジュアル衣料品業界の中で生き残り大きな成長を勝ち取るためには避けて通れない挑戦であると考えております。

停滞は後退に等しく、進化は多様な試みによって生まれる、というのが私の哲学であります。

私の「やってみよう精神」が浸透していくに伴って、現場は活性化し、社内から様々なアイデアが生まれるようになってまいりました。何よりも仕事を義務と捉えず楽しむ社員が生まれつつあることは、私にとってはまた望外の喜びであります。社員が生き生きと仕事ができる会社でなければ、株主様にも取引先様にも報いることは到底できない。私はそう考えております。

革新的なビジネスモデルを追い求め、弊社は「不諦不転」の覚悟で、今後も前進し続けてまいります。

どうか全てのステークホルダーの皆様のご支援とご支持を賜りたくお願い申し上げます。

決算のポイント

売上高

▼ 35,952 百万円

店舗数は前期比2店舗減、既存店売上前年比が1.8%減となり減収。

経常利益

▼ 347 百万円

売上高減少と競争激化による割引セール増加により、売上総利益が減少し減益。

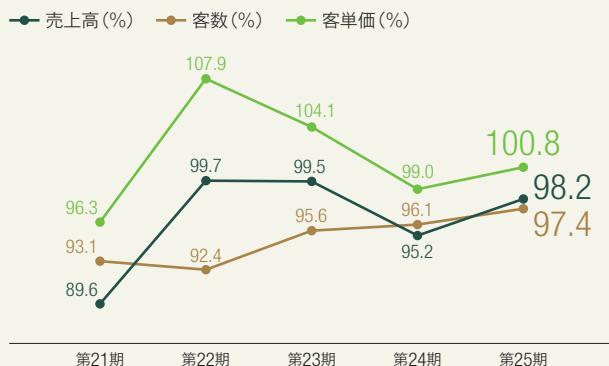
当期純利益

▼ △123 百万円

経常利益減に伴い減益。



既存店の推移



出退店状況の推移



「成長するためのビジネスモデル」を追求

ジーンズカジュアルのみに依存 しない新たなビジネスモデル

「営業」、「商品」、「販促」の三位一体改革

1. マックハウスの「ビジカジスタイル」

プライベートブランド「Navy®」のサブブランド「Navy® PREMIUM(ネイビープレミアム)」より、「ビジカジスタイル」を提案します。

ONでもOFFでも大人の着こなしを演出できるアイテム。

- ジャケット
- パンツ
- シャツ
- バッグ



2. 「低価格プロジェクト」を始動

価値のある低価格品を販売することにより、客数増、販売点数増を図ります。

「リアルスタンダード」、「フリーネイチャー」、「ラッシュアワー(R/H)」などのプライベートブランドを中心に、インナー・レッグ、キッズ、レディースで展開。



低価格キッズ商品の展開

- ファミリー層の集客

販売計画数：100万点／価格帯 290円～490円



3. 新業態開発 マックハウス スーパーストア (MHSS)

2015年3月28日 1号店オープン ビバモール大井店

2015年4月24日 2号店オープン ラグーナテンボス蒲郡店

低価格のファストファッション商品から、有名ブランドのジーンズ、バイカー、ストリート、サーフ、カジュアルからビジカジ、スーツまで、あらゆるお洒落服が集結する新コンセプト・カジュアルショップ。

- 売場面積：200～300坪

Mac-House

Mens, Womens, Kids Clothing & Lifestyle Goods

SUPER STORE



トピックス

ヒット商品「RUN DENIM」をアイテム拡大

プライベートブランド「Navy®」の「RUN DENIM(ランデニム)」シリーズから、“驚きの伸縮性新感覚デニム”を使用したメンズ・ウイメンズのトップス、キッズボトムスシリーズを新たに発売しました。



シャツ



ジャケット



キッズボトムスシリーズ

「インナーを科学する」高機能インナー・レッグウェアの展開



ムレにくい

吸汗速乾

軽い

雑誌「ターザン」との提携で生まれた快適インナー

ストレスフリーにバストメイク スポブラYバック 1,990円+税
ヒップアップ レディースボクサー 1,290円+税

速乾機能インナー 昨年発売の「SA・RA・RI Cool」を
通年商品「SA・RA・RI」としてリニューアルしました。



シルキーリッチインナー
SA・RA・RI 990円+税

※通年商品の増加

新たな重点販売商品の開発「Navy® SPORTS」ローンチ

スポーツウェアの機能性を、ファッションブランドらしく
スタイリッシュに仕上げた新ブランド「Navy® SPORTS」です。



フィールドパーカ メンズ 7,900円+税

レディース 6,900円+税

モバイル会員拡大



メールマガジンでお得な情報をお届けします。

モバイル会員募集中!

スマートフォンにも対応

登録無料 カンタン手続き >

<http://mac-house.jp/>

マックハウス モバイル

検索



店舗紹介

マックハウスの売り場をご紹介します

Mac-House

Mens, Womens, Kids Clothing
& Lifestyle Goods

マックハウスは、価値のある低価格のファストファッション商品から、ナショナルブランド及びプライベートブランドのボトムス並びにトップス、機能性に優れたインナー・レグウェア、個性豊かなライフスタイル雑貨を豊富に取り揃えております。

また、着心地抜群のジャケットなど、ONでもOFFでも大人の着こなしを演出できるアイテムの取り扱いを始めました。

※ライフスタイル雑貨は約200店舗で展開しております。



売り場

アパレルコーナー



ビジカジコーナー



ライフスタイル雑貨コーナー



インナー・レグウェアコーナー

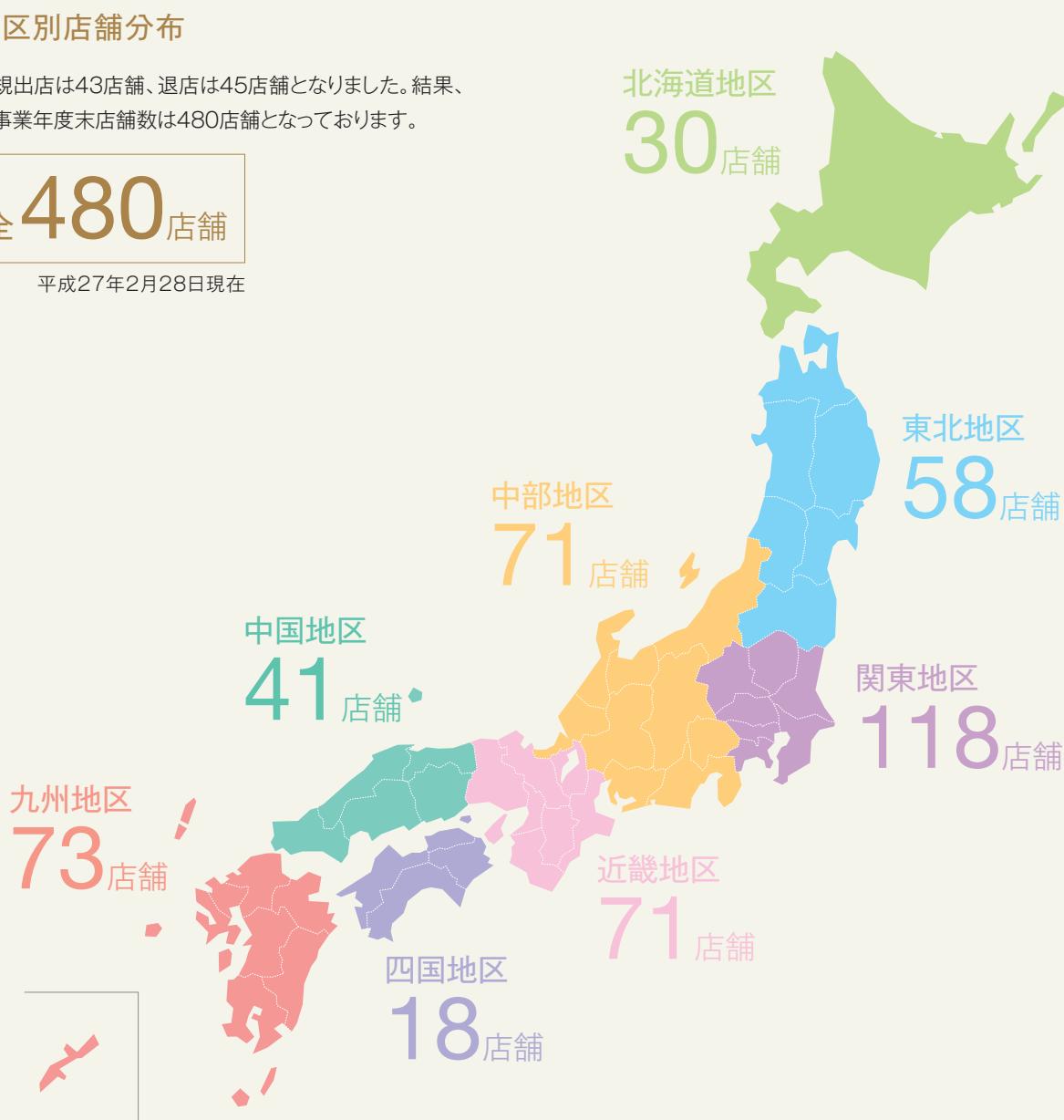


地区別店舗分布

新規出店は43店舗、退店は45店舗となりました。結果、
当事業年度末店舗数は480店舗となっております。

全 **480** 店舗

平成27年2月28日現在



財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 平成27年2月28日	前期 平成26年2月28日
資産の部		
流動資産	20,067	20,277
固定資産	7,576	7,737
有形固定資産	1,732	1,559
無形固定資産	216	195
投資その他の資産	5,627	5,983
資産合計	27,644	28,015
負債の部		
流動負債	9,877	9,391
固定負債	2,496	2,642
負債合計	12,374	12,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	8,472	9,209
自己株式	△153	△152
株主資本合計	15,236	15,974
新株予約権	17	9
純資産合計	15,269	15,981
負債・純資産合計	27,644	28,015

流動資産

現金及び預金が3,028百万円減少し、商品が2,730百万円増加したこと等により、前期末に比べ210百万円減少しました。

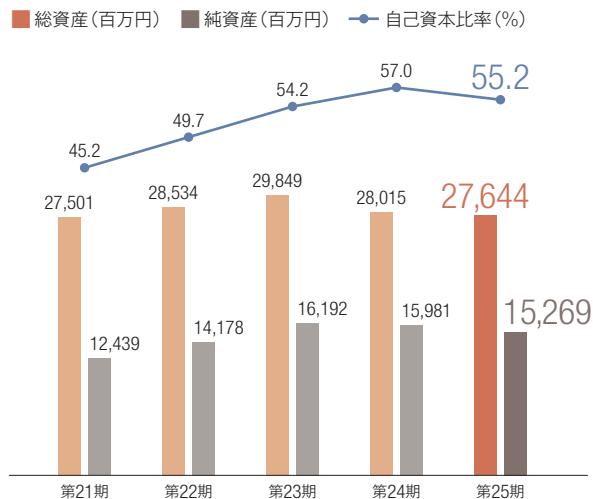
固定資産

敷金及び保証金が283百万円減少したこと等により、前期末に比べ160百万円減少しました。

総資産・純資産・自己資本比率

純資産合計は、前期末に比べ711百万円減少しました。

これは主に、当期純損失を123百万円計上した一方で、剰余金の配当613百万円等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は55.2%となり前期末に比べ1.8ポイント減となりました。



(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成26年3月1日 至平成27年2月28日	自平成25年3月1日 至平成26年2月28日
売上高	35,952	36,749
売上原価	19,298	19,643
売上総利益	16,653	17,105
販売費及び一般管理費	16,451	15,965
営業利益	202	1,140
営業外収益	452	473
営業外費用	306	362
経常利益	347	1,251
特別利益	11	13
特別損失	295	138
税引前当期純利益	63	1,126
法人税、住民税及び事業税	171	407
法人税等調整額	16	168
当期純利益又は当期純損失	△123	549

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

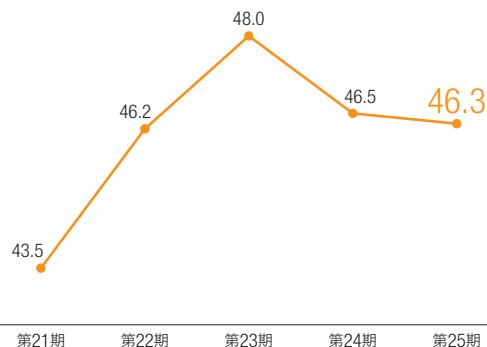
科目	当期	前期
	自平成26年3月1日 至平成27年2月28日	自平成25年3月1日 至平成26年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,720	△817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△403	△352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△706	△904
現金及び現金同等物の増減額	△2,829	△2,075
現金及び現金同等物の期首残高	9,143	11,218
現金及び現金同等物の期末残高	6,313	9,143

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上総利益率

競争激化による割引引きセールの増加により、売上総利益率が低下。

● 売上総利益率(%)



販売費及び一般管理費

■ 販売費及び一般管理費(百万円) ● 販売費及び一般管理費率(%)



会社概要／株式の状況

会社概要

(平成27年2月28日現在)

商号	株式会社マックハウス (英訳名: MAC HOUSE CO.,LTD.)
本社	東京都杉並区梅里一丁目7番7号 新高円寺ツインビル
設立	平成2年6月1日
資本金	1,617,850,000円
従業員数	339名
主要な事業内容	当社は衣料品の小売りを主たる目的としたチェーンストアとして全国的に店舗を展開しております。

役員

(平成27年5月20日現在)

取締役社長(代表取締役)	白 土 孝
取締役相談役	舟 橋 政 男
取締役	風 見 好 男
取締役	杉 浦 功 四 郎
取締役	北 原 久 巳
取締役	石 塚 愛
常勤監査役	田 村 守
監査役	三 浦 新 一
監査役	山 本 潔
監査役	内 田 善 昭

*取締役のうち、石塚 愛は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

*監査役のうち、田村 守、三浦 新一、山本 潔、内田 善昭は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主優待のご案内

当社では株主の皆様への還元策としてはもちろん、お一人でも多くの株主様に商品やサービスをご利用して頂き、当社のファンになって頂きたいとの思いから「株主ご優待券」を進呈いたしております。

100株以上	500株未満	の株主様	1,000円 相当
500株以上	1,000株未満	の株主様	3,000円 相当
1,000株以上		の株主様	5,000円 相当

*割当基準日2月末日/年1回(5月下旬発送予定)

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 (その他必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)

(配当金受領株主確定日)

期末配当金 毎年2月末日
中間配当金 毎年8月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先) 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話: 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数

100株

上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法

電子公告の方法により行います。
但し、やむを得ない事由により、電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載す
る方法により行います。
公告掲載URL <http://www.mac-house.co.jp>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 **マックハウス**

〒166-0011 東京都杉並区梅里一丁目7番7号 新高円寺ツインビル
電話: 03-3316-1911(代)